

会 告

本 会 記 事

◎会誌の一括送付について

この度の郵便法の改正により会誌の郵送料が大幅に値上げ（1冊当り16円から40円）になり、この面の学会経費が相当な額になりますので、第2巻4号より5名以上の会員が所属されている処には一纏めにして送付いたしますのでご了承下さい。なお、今まで会誌送り先に自宅を希望されている会員は、出来るだけ所属先に変更して下さい。

◎研究会開催通知

ALGOL 研究会

日時 10月27日(金) 13.30

会場 日本電子工業振興協会会議室

議題 KDC-1 のための ALGOL 60 Compiler について 長尾 真, 古谷直道(京大工)

機械翻訳 研究会

日時 11月7日(火) 13.30

会場 電気試験所第2会議室(千代田区永田町2の1)

議題 (1) 電試での英和翻訳のプログラムについて 喜多実子(電試)

(2) 数学書, 科学書の言語分析

金子隆芳(教育大)

EDPS 研究会

第1分科会(システムに関する分科会)

日時 11月8日(水) 13.45

会場 日本電子工業振興協会会議室

議題 Canning の導入システム

竹中直文(都立商科短大)

第2分科会(プログラミングおよび機械に関する分科会)

日時 11月29日(水) 13.45

会場 日本電子工業振興協会会議室

議題 入出力用プログラム・ルーチン

岡本行二(東芝)

COBOL 研究会

11月, 12月は休会

◎第2回評議員会

4月上旬に行った昭和36・37年度役員(評議員)選挙により選出された(仮)評議員により(仮)評議員会が下記により行われた。なお、5月26日開催の第2回通常総会で(仮)評議員は正式に承認されたので、(仮)評議員会の議決事項も正式に議決されたものとなる。

日時: 昭和36年5月12日(金)午後3時~4時30分

場所: 日本電子工業振興協会会議室

出席者: 石川武二, 宇野利雄, 奥野治雄, 茅野健, 岸上勉, 河野忠義, 後藤正夫, 斎藤有, 清水辰次郎, 清宮博, 高橋秀俊, 高崎勲, 田中信次郎, 牧野雄一, 南沢宣郎, 三輪大作, 山下英男, 山内恭彦, 和田弘,

出席者19名, 委任状33通, 計52名(成立)

議題:

(1) 昭和35年度業務報告, 決算報告

(2) 昭和36年度予算案説明

(3) 理事の選定

議決事項については、会誌第2巻第3号179頁第2回通常総会開催記事参照のこと。

◎理事会の状況

理事会は毎月定例的に開催しているが、第11回以後の開催状況は次のとおりである。

会次	日時	出席者数	主なる審議事項
第11回	3/17	8名	(1) IFIPS 第2回理事会報告 (2) 第2期評議員選出に関する件 (3) 会誌編集(2巻1,2号)状況の件 (4) 昭和35年度決算見込および昭和36年度予算に関する件
第12回	4/14	7名	(1) 会誌編集(2巻1号)状況の件 (2) 評議員選挙の件
臨時	4/25	11名	(1) 評議員選出の件 (2) 理事選出法の下打合せの件
第13回	5/12	8名	(1) 第2回通常総会の件 (2) 会誌編集(2巻2号)の件
第14回	6/9	7名	(1) 昭和36年度事業計画の件 (2) 会誌編集(2巻2号)状況の件
第15回	7/14	9名	(1) 会誌編集(2巻3,4号)状況の件 (2) 英文論文集発行の件 (3) ISO IEC, 国内委員会の件
第16回	8/11	8名	(1) 会誌編集(2巻4号)状況の件 (2) IFIP Congress'62 応募論文の取扱いの件

第17回	9/8	9名	(1) 第2回大会の件 (2) 賛助員増加の件 (3) 会誌編集(2巻5号)状況の件 (4) 学会事務員増員の件
臨時	9/22	5名	(1) 第2回大会の件 (2) 第3回評議員会開催の件

◎幹事会の状況

第10回以降の開催状況は次のとおりである。

会次	月日	出席者数	主なる審議事項
第10回	3/24	8名	会誌第2巻第1号, 2号編集の件
第11回	4/28	14名	会誌第2巻第2号, 3号編集の件
第12回	5/28	13名	(1) 会誌第2巻第3号, 4号編集の件 (2) 英文論文集発行の件
第13回	6/23	10名	(1) 会誌第2巻第3号, 4号編集の件 (2) 『情報処理』関係雑誌リスト作成の件 (3) 英文論文集発行の件 (4) 寄稿論文7件
第14回	7/27	13名	(1) 会誌第2巻第4号, 5号編集の件 (2) 研究会準備会開催の件 (3) 英文論文集発行の件 (4) 寄稿論文5件
第15回	8/25	11名	(1) 会誌第2巻第5号編集の件 (2) 会誌一括送付の件 (3) 寄稿論文2件
第16回	9/22	10名	(1) 会誌第2巻第5号, 6号編集の件 (2) 第2回大会の件

◎IFIP Congress '62 応募論文 Screening 会開催

来年8月に西独の München で開催される第2回情報処理国際会議における論文発表に際して国内より応募された論文19件について9月8日, 9月11日の2日間にわたって Screening 会(理事会および幹事会のメンバーより構成)を行ない, 12件の論文を9月18日付で, congress '62 Program Com. あて送付した。

◎研究会設置準備会開催

会誌第2巻第4号会告でご案内した, ALGOL, COBOL, EDPS, 機械翻訳の各研究会設置のための準備会が各々開催され, 研究会の研究内容, 構成, 開催回数などの運営方針について活発な意見の交換が行われた。検討の概要はつぎのとおりである。

○EDPS(世話役 関根智明君)9月6日開催, 出席者24名

EDPS (Electronic Data Processing System) ということより, プロセス・オートメーションから事務のオートメーションまで, 広範囲の電子データ処理が考えられるが, 当研究会としては, 事務のデータ処理における場合について検討を行うこととした。この場合大きく分けて, (1)事務組織の分析, (2)プログラムの問題(入出力関係プログラム, 紙テープかカードか?, 分類などの問題)の二つの方向が考えられ, いずれの方向に重点を置くかについて結論が得られなかったため, 10月5日午後再度準備会を開催して再検討することとした。

○COBOL(世話役 関根智明, 高田雅陽君)9月14日開催, 出席者27名

COBOL については, 概要が会誌第2巻第4号に掲載されたのみであり, 最近 COBOL-61 が出版されたばかりであるということから, 出席者の大半はまだ COBOL の詳細については検討していないということから, 研究会というより COBOL そのものについての講習会を開催して欲しいとの希望が多く, 11月下旬頃に講習会を行なうことにして, 取りあえず, COBOL-61 についての和訳を関係者の間で行うこととした。

○ALGOL(世話役 高橋秀俊君)9月21日開催, 出席者30名

ALGOL を実際に使ったりコパイラーを作った経験のある人が出席者中7~8人あったのみで他人の中には ALGOL を勉強したいと思って出席した人もある現状である。次回より上記 ALGOL を手がけた人に2人ずつ位の経験や意見を話してもらいと3~4回で一応皆のレベルが合ってくると思われる。それから ALGOL に対してディスカッションをすることとした。

○機械翻訳(世話役 和田弘君)9月28日開催, 出席者5名

機械翻訳関係の文献を集めて研究会ごとに発表することを主なることとし, 研究会は特に開放せず, その構成について, 言語関係のグループと機械関係のグループより集めることとした。

◎会計の状況

昭和36年度上半期における会計の収支は次表のとおりである。

昭和36年度上半期収支決算書
(昭和36年9月30日現在)

支出の部		収入の部	
科目	金額	科目	金額
人件費	66,399	前期繰越金	977,379
手数料	6,025	入会金	8,800
交通費	1,275	会費収入	312,000
印刷費	716,577	賛助会費	1,700,000
通信費	76,392	利息収入	14,325
会議費	151,724	雑収入	6,220
事務消耗品費	709	仮受金	5,400
事務所経費	24,000		
会誌出版費	121,000		
給料附帯費	3,600		
立替金	5,800		
雑費	950		
翌月繰越金	1,849,673		
合計	3,024,124	合計	3,024,124

翌月繰越内訳
現金 6,135
振替貯金 520,517
銀行 1,323,021

1,849,673

未払金 203,890

(会誌第2巻第4号印刷費)

会費の未収金

年度	正会員	賛助会員
昭和35年度	(14人) 14,000	0
" 36 "	(634人) 634,000	(11口) 220,000

会費未納の方は、至急納入して下さいますようお願い
ます。

◎会員の状況

昭和36年9月30日現在の会員賛助員の入会状況は
つぎの通りである。

会員数 901名
賛助会員数 35社(94口)

会誌への寄稿規定

- (1) 寄稿者は原則として本会会員に限る。
 - (2) 本会所定の原稿用紙(申込み次第送付する)に執筆のこと。(雑誌1ページは本会原稿用紙で7枚)
 - (3) 寄稿の種類
 1. 論文(長さは刷上り6ページ以内、題目、著者名、所属の英訳を付ける)
学術および技術に寄与する新しい研究成果
 2. 紙上討論(長さは刷上り1ページ以内)
本会誌に掲載された事項に関する討論およびそれに対する原著者の回答。
 3. 寄書(長さは刷上り1ページ以内)
論文とするほど纏まったものではないが、学術および技術に寄与する新しい研究成果あるいは考察など。
 4. 会員の声(長さは刷上り2ページ以内)
学術または技術について会員一般の関心を
 - (4) 寄稿の採否
採否は常務理事を含む幹事会で決定する。また要旨だけ掲載する場合もある。前項1および3に該当するもので、本会受付前に、他の公開出版物にほぼ同じくらい詳しく掲載されたものは、原則として掲載しない。
 - (5) 原稿の送付先 東京都港区芝西久保巴町35
電子工業振興協会内 情報処理学会
 - (6) 論文別刷50部著者に贈呈。それ以上は有料。
- 促すための意見、本会の事業および動向に対する批判や意見など。
5. 文献紹介(長さは刷上り0.5ページ以内)
紹介したい原著の題目を学会に照会の上、寄稿せられたい。掲載の節は謝礼を呈する。
 6. ニュース(長さは刷上り0.5ページ以内)
ニュース源の紹介、ニュース記事のいずれでもよい。掲載の節は謝礼を呈する。

第 2 回 大 会

日 時 11月16日(木), 17日(金) 午前の部 9.30~12.30 午後の部 14.00~17.00
 会 場 電機工業会講堂(都電=溜池, 地下鉄=議事堂前下車)
 講演次第 (1件 約25分)

16日 午 前 の 部

- 招待講演
 New Illinois ComputerD.E. Muller (イリノイ大)
 一般講演
 1. 遅延線型バッファを持つ入出力装置の制御.....中塚正三郎, 前田良雄, 小林孝一郎, 蒲生容仁 (三菱電機)
 2. スイッチング・コアを用いた計数形微分解析機用ランダム書き込みの実験.....間野浩太郎, 沢 寅夫 (鉄道研)
 3. ETL MK-6 の基本回路の改良.....松崎磯一, 高橋 茂 (電 試)
 4. 高速磁心記憶装置.....加藤雄士 (電 試)
 5. マイクロプログラム方式を用いた万能論理回路とその最適化制御装置への適用.....福永圭之介 (三菱電機)
 6. OKITAC-5090 のラインプリンタとカードのフォーマット制御について.....藤井 純, 中川一郎, 安楽芳伸 (沖 電 気)
 7. バッファと時分割処理について.....石 井 康 雄 (富士通信機)

16日 午 後 の 部

8. ALGOL の文法と Array-Declaration井上謙蔵, 高橋秀知 (東 大)
 9. ALGOL の文法における LABEL の取扱い井上謙蔵, 寺崎公子 (東 大)
 10. Basic NEAC-2203 の Symbolic Address Language Input Routine...安井 裕 (阪 大)
 11. 2203 NARC コンパイラについて.....古山良二, 草鹿庸次郎 (日本電気)
 12. 弛緩法における加速係数の推定について.....清 野 武 (京 大)
 13. 有理数の四則及び有理係数多項式の計算.....遠藤恵子, 高橋 理, 桂 重俊 (東 北 大)
 14. 偏微分方程式の数値解法の一例.....吉江高明, 魚田勝臣 (三菱電機)
 15. 測地観測における IDP システム.....石川甲子男 (建設省)
 16. ランバートの等角平面座標から経緯度座標および国際横メルカトル座標への座標変換について.....刀 根 薫 (電 子 協)

17日 午 前 の 部

- 招待講演
 海外での見聞.....森 口 繁 一 (東 大 工)
 一般講演
 17. 自動索引作成.....高 橋 達 郎 (情報センタ)
 18. 磁気テープのブロック番号について.....矢 島 脩 三 (京 大)
 19. プログラムレベルにおける記憶装置のロック・アヘッド方式.....鵜 飼 直 哉 (東 工 大)
 20. 多数決論理による多重誤り訂正巡回符号の復号法.....嵩 忠 雄 (阪 大)
 21. 遅延線論理方式におけるデータ選別命令とその応用.....豊田準三, 中塚正三郎, 壺井芳昭 (三菱電機)
 22. 単アドレス計算機における命令の頻度および遷移確率.....壺井芳昭, 木村孝之 (三菱電機)
 23. 演算回路の動作試験.....吉江高明, 首藤 勝, 田中千代治 (三菱電機)

17日 午 後 の 部

24. トレイン・トラヒック・シミュレータ.....間野浩太郎(鉄道研), 島村和也(三菱電機)
 25. TOSBAC-4200 シリーズの方式について小野弘智, 池田謹之助, 白井国雄, 古賀正一, 岡本年彦 (東京芝浦)
 26. TOSBAC-3225 A の改良点山中和正, 村井洋一 (東京芝浦)
 27. 実時間システムにおける運転方式と信頼度について.....大野 豊 (鉄道研)
 28. 座席指定券の印刷できる窓口装置の試作.....大野豊(鉄研), 落合進(国鉄東電工), 熊谷千寿(日立)
 29. ETL MK-6 P高橋 茂, 松崎磯一, 川合英俊(電試), 久保菊雄(コロムビア)
 30. ETL MK-6 の方式設計.....高橋 茂, 淵 一博, 吉広和夫, 西野博二 (電 試)
 31. パラメترونと小型計算機.....遠藤良明, 石井善昭, 木下正義, 山本順三 (日本電気)
 32. KT パイロット・モデル計算機(フォトトランジスタ固定記憶装置を用いたマイクロプログラム計算機).....萩原 宏(京大), 天羽浩平, 松下重恵, 山内史志(東芝)

大会参加費 250 円(予稿集を含む)

懇 親 会 17日(第2日)の講演終了後, 引続き開催される(会費 500 円)

見 学 会 昼食休憩時に, 日本電子工業振興協会の計算機センタ(虎ノ門), 電気試験所(永田町), 富士通信機センタ(御成門), 沖電気センタ(虎ノ門), I.B.M.センタ(番町), レミントン・センタ(田村町)などの計算機の見学を斡旋する。詳細は当日会場入口に掲示される。